

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

岩手県では、農業従事者の減少や高齢化が進行する中、農業の担い手育成が急務となっている一方、農業を職業にしたいというニーズが増加していることから、農業技術・経営ノウハウの習得を支援する事業を行っています。

事業概要

岩手県の農業の担い手を集中的に育成するため、就農を目指す失業者を新たに雇用しながら、研修受け入れ農家等における実践的な技術・経営ノウハウ習得研修を実施することにより、自営による新規就農者を育成する。

委託先

(社)岩手県農業公社

新たな 雇用創出数

合計 19人

事業費

約6,518万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

業務内容

- 農業経営を開始することを目指している失業者・離職者・新卒者等(以下「就農予定被雇用者」)を採用し、就農予定被雇用者は、賃金を得ながら、県内の先進農家や農業法人等の研修受け入れ経営体などに通い、実際の農業生産現場において栽培技術や経営ノウハウを実践的に習得する。
- 就農予定被雇用者は、雇用期間終了後、県内において自営による農業経営を始める。

事業の公募

ホームページ等で募集



辞令交付式の様子

岩手県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岩手県 0.38倍(季節調整値)



《(株)北一農のいちご技術担当の藤原さんから指導を受ける就農予定被雇用者 花坂さん(左)》

就農予定 被雇用者

自立した農業経営を学ぶため、ぶどう栽培で自立を目指し、研修に励んでいます。

農業公社の職員となっていることで生活が安定し、安心して研修に取り組めます。（研修中の高橋さん）

農業研修受入 指導農家の声

受入農家からは、「とても一生懸命です。三浦さんの生活がかかっていると、私も責務の重大さを感じています。」

作付け回転の速い ほうれんそう栽培に懸けています。徐々に他の品目の指導も受ける予定です。（研修中の三浦さん）

今後の姿と 課題

就農を目指して経営開始資金もある程度準備しているものの、研修期間中の収入・生活に不安があり、これまで本格的な農業研修に踏み出せなかった方の後押しとなることを期待しています。

岩手県農林水産部農業普及技術課

就農に向けた本格的な実践研修を行うためには、その間の生活(収入)をどうするかが課題であることから、この事業の活用により、ぜひ、夢を実現していただきたいと思います。

(社)岩手県農業公社(事業受託者)

新規就農を目指す方々が、自分の夢を実現させるため、真剣に研修しています。一人一人の事情と思いを丁寧に聞きながら、関係機関と連携し、支援していきます。



《富山さんからぶどう枝の誘引指導を受ける
就農予定被雇用者 高橋さん(右)》



《就農予定被雇用者三浦さん(右端)を受け入
れている長坂さんご夫妻。》



《就農予定被雇用者岩城さん(右)を受け入れ
ている有限会社かさい農産の葛西社長》

地域林業担い手育成事業【徳島県 海陽町】

海部森林組合 組合長
長谷 宏昭 さん

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

林業従事者の減少と高齢化が深刻な問題となって来ています。本事業の委託を受け、森林を整備していく上に置いて必要な技術の研修や資格の取得、林業従事者としての安全教育を行い、研修終了後には、地域林業の担い手として活躍していただきたいと思っています。



事業概要

地域の失業者を雇用し、林業作業に必要な技術などの研修を行い、林業の担い手となる技術者の育成を行う。

委託先

海部森林組合
(徳島県海部郡海陽町吉野小松9-5)

事業費

約1,600万円 (平成22年度)

新たな 雇用創出数

3人

事業の開始

平成22年 4月～

業務内容

林業基礎研修(off-JT)による森林・林業についての基礎知識や林業作業の基本的な技術の学習

森林組合での現地研修(OJT)によるチェーンソーや架線集材などの林業作業に必要な技術の習得

研修終了後は、森林組合における林業の担い手としての雇用につなげていく

徳島県海陽町



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

徳島県 0.65倍(季節調整値)
牟岐管内 0.57倍(原数値)



林業の担い手を育成するために！

(地域林業担い手育成事業の研修実施状況)



○山林労務者(研修生)の感想

- 林業に転職してから、体力的につらいですが、達成感があり充実した毎日を送っています。
- 林業作業のすべてを一人前になれるようがんばります。
- この仕事をして2か月ですが、山をよくしていき、海もよくしていき、住みよい町にしていきたいです。